

公衆トイレ建設中！

「おもてなし」整備

JR土呂駅東口駅前広場

↓ 土呂駅の景観を損ねないデザイン



これまで土呂駅には、改札内にはバリアフリー化されたトイレがあるものの、改札外には設置されておらず、地域の皆さまから「早急に設置を」とのお声をいただいております。

そして皆さまのご協力により、さいたま市は昨年より、東口駅前広場にて公衆トイレの設置工事に入り、まもなく完成予定です。

今年4月には世界盆栽大会が開催される予定で、これを機にますます多くの観光客が駅を訪れることが予想されます。今後、高齢者や障害のある方々にもお越しいただけるよう、「おもてなし」の整備に努めていきたいと思っております。

2015年6月定例会一般質問での主なやりとり

伊藤仕：

バリアフリー法の基本方針には、鉄道駅においては、「1日あたりの平均的な利用者数が、3千人以上である鉄道駅には、平成32年度までに、原則としてすべてにエレベーター又はスロープを設置することを始めとした段差の解消、ホームドア、可動式ホーム柵、点状ブロックそのほかの視覚障害者の転落を防止するための設備、視覚障害者誘導用のブロックの整備、便所がある場合には障害者対応型便所の設置等の移動等円滑化を実施する」こととされている。

土呂駅においては、改札内にはバリアフリー化されたトイレが設置されているが、改札外には設置されておらず、現状、決して便利であるとは言えない。今後、市内全域の駅改札外においてトイレを新築または、改築する場合の年次実施計画が管理者である担当部署にて策定されているのであれば教えていただきたい。

保健福祉局長：

駅前公衆トイレが未設置の駅の利用者や駅周辺の自治会、商店街等からは、公衆トイレの設置の要望をいただいている。保健福祉局では各駅での駅舎、または駅前広場改修等の計画の有無の情報収集に努め、改修計画等の事業を実施する所管に、事業計画策定の段階から設置の要請を行っている。また、市内鉄道会社各社に対しても、これまで埼玉県を通じ鉄道整備要望の一つとして、公衆トイレ未設置の各駅に公衆トイレ設置のための用地確保等について要望しているところ。今後も引き続き、駅周辺施設の整備に合わせ、関係機関等との連携を深めながら公衆トイレの設置を検討していきたい。



【プロフィール】

大きな身体で小さなことこそコツコツと取り組む、「まっすぐに、マナブ。」が信条。さいたま市北区育ち。地元の宮原幼稚園、泰平小学校、栄東中・高で学び、学生時代より政治の道を志、大学卒業後、国会議員の公設第1秘書などを経験し、政治の現場で多くの政策立案や地域課題の解決などに全力で携わる。現在、皆様の声が政治の原点！に北区選出のさいたま市議会議員二期目。「まちづくり委員会委員長」「予算委員会」「事務処理等適性化調査特別委員会」委員などを務める。

